

# 食品表示・トレーサビリティ推進事業委託費

【令和7年度予算概算決定額 11 (11) 百万円】

## &lt;対策のポイント&gt;

①食品事故等の問題が生じたときに、原因究明や商品回収を円滑に行うことが必要であり、トレーサビリティの優良事例を横展開するための支援を行うとともに、②スーパー・マーケットにおいて、食品の不適正表示に係る指示・公表事案が増加傾向（R4年度 2件 → R5年度 6件）にあるため、スーパー・マーケット等に対し、食品表示ミス防止の取組を支援します。また、③中小の食品事業者等を対象に、テキストを用いてWEB配信を含めた研修会を実施します。

## &lt;事業目標&gt;

- 中小の食品事業者等の食品トレーサビリティの取組率向上（現行の取組率50%以上 [令和11年度まで]）
- 食品表示ミス防止の意識向上（啓発資料へのアクセス件数 5,000件 [令和11年度まで]）
- 研修会の実施（「わかりやすい」と回答した者の割合 90% [令和11年度まで]）

## &lt;事業の内容&gt;

## &lt;背景&gt;

① 各事業者が食品の取り扱い記録を作成・保存し、食品事故等の発生時に、原因究明や商品回収を円滑に行うことが必要です。内部トレーサビリティの取組率は現行50%と向上してきていますが、川下の流通段階ほど、人手不足等により取組率は低下しており、課題に対応した推進が必要です。

② また、近年、消費者に身近なスーパー・マーケットにおいて、食品の不適正表示に係る指示・公表事案が増加傾向にあるため、中小の事業者が多いスーパー等に対して表示ミス防止の支援が必要です。

## &lt;事業内容&gt;

① トレーサビリティの優良事例を踏まえたモデル的な取組が、広く事業者に導入できるためのマニュアルを作成する等、横展開の支援を行うとともに、取組状況のアンケート調査を行います。

② スーパー・マーケット等向けに、食品表示ミス防止につながる啓発教材の作成等の支援を行います。

③ 原材料の入荷から加工した製品を出荷するまでの各工程において、各種帳票等の情報管理を行い、正確な表示を行う方法について、わかりやすく解説したテキストを用いて、中小の食品事業者等向けに、WEB配信も含めた研修会を実施します。

## &lt;事業の流れ&gt;

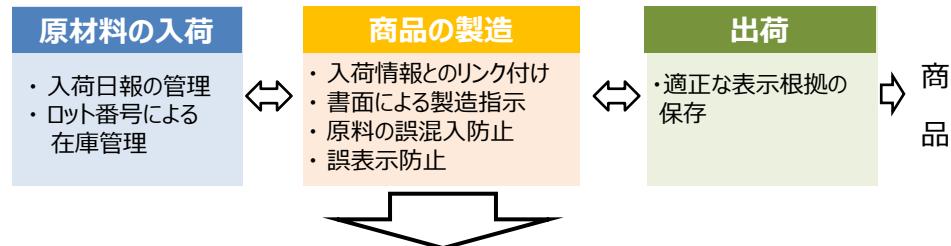
委託

国

民間団体等

## &lt;事業イメージ&gt;

## ①食品トレーサビリティの取組推進



## 導入マニュアル



- 適正な表示の確認ができる
- 万が一の事故やクレームにスピーディーに対応できる
- 必要最小限の商品回収で経費が軽減できる



⇒ **食品トレーサビリティ取組率の向上** ⇌

## ②食品表示ミス防止の取組

スーパー等事業者での研修等の促進



⇒ **食品表示ミス防止の意識向上**